

平成20年7月31日

高松市長 大西 秀人 殿

高松市香川地区地域審議会
会長 初瀬 恭次郎



建設計画に係る平成21年度および22年度実施事業に関する意見について

盛夏の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成20年5月22日付け高企第15号で依頼のありました、建設計画に係る平成21年度および22年度の実施事業について、別紙のとおり当地域審議会の意見等を提出いたしますので、建設計画関連事業を含め、重点的・戦略的に推進する主要な施策・事業を取りまとめた「まちづくり戦略計画」に、当該意見等を十二分に反映していただきますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成21年度および22年度実施事業に関する意見について

1ページ

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
1	特色あるスポーツ施設の整備推進について	<p>建設計画の重点取組事項である「香川町を中心とする南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」について、市域全体のスポーツ施設のバランスを考慮する中、各種スポーツ団体や幅広い年齢層の住民の意見を聞く中、計画的に検討を進め、平成21年度末を目途に具体的な整備方針を策定されたい。</p>
2	保育所の整備および維持管理について	<p>まちづくり戦略計画では、平成22年度に大野、大野東保育所の改築の基本構想を策定することとなっているが、保護者をはじめ地域住民の意見を十分に聞いて当該基本構想の策定を進められたい。また、川東保育所についても、大野、大野東保育所と同様に老朽化が進んでおり、平成22年度以降のすみやかな時期に、同保育所の改築等の基本構想を策定することを要望する。また、これら保育所の改築整備されるまでの間、保育環境を適正に維持するため必要な補修や設備の更新をお願いする。</p>
3	道路の整備について	<p>生活基盤となる市道整備（建設計画掲載の26路線）について、地元住民の同意を得ながら、順次、整備を推進されたい。なお、合併後の状況の変化により住民ニーズが低下している路線も想定されるので、今後、整備にあたっては、建設計画を尊重しつつ、これまで以上に整備の必要性や費用対効果を総合的に考慮する中、路線によっては整備の凍結も選択肢の一つに、適切に整備を進められたい。</p> <p>また、県道三木綾川線バイパスルートについては、早期整備に向け、引き続き県に対し、要望されたい。</p>
4	川東体育館等老朽化施設の修繕等整備について	<p>川東体育館が昭和46年、川東児童館および農村環境改善センターが昭和54年、川東コミュニティセンターが昭和56年に建築され、かなり老朽化してきている。これら施設の耐震補強工事をはじめ、必要な修繕工事を行って適正な維持管理に努めていただきたい。また、隣接する川東体育館、川東コミュニティセンターおよび川東児童館の3施設は、敷地が狭く駐車スペースが極めて乏しいため、車による利便性に支障を来していることから、将来、取壊し整備する施設がある場合は、他の2施設も含め一体的な整備を行って、より効果・効率的な使用形態となるよう整備をお願いする。</p>
5	地域防災体制の整備について	<p>近い将来、東南海・南海地震の発生も予想される今日、安全で安心して暮らせる環境整備のためには、災害、緊急時における消防体制や危機管理体制の整備を進めるとともに、地域住民の防災に対する意識高揚や住民と行政関係機関との連携強化を図ることが重要である。このため、香川町地域における自主防災組織の結成促進等を行うとともに、結成した自主防災組織を中心に、香川町全域が一体となった総合防災訓練を定期的実施することを要望します。</p>

建設計画に係る平成21年度および22年度実施事業に関する意見について

2ページ

地区名：香川地区

番 号	項 目	事 業 の 内 容
6	下水道，合併処理浄化槽の生活排水施設の整備について	<p>公用水域の水質保全と快適な生活環境を創出するため，下水道や合併処理浄化槽などの汚水処理施設について，その施設の有する特性，水質保全効果，建設費や維持管理費の経済性，整備の緊急性などを総合的に勘案して，それぞれ地域の実情に応じた効率的な整備を行う必要がある。高松市の下水道普及率は55.3%（H19.4.1）で，全国平均69.3%（H18.3.31）を大きく下回っており，さらに香川町地域は34.4%（H20.3.31）となっている。これまで香川町地域は下水道等の整備が遅れてきたため，生活排水などの流入により水路，ため池，河川などの汚濁，悪臭が発生しているところがある。今後，経済性，効果・効率性等を十分に踏まえる中，香川町地域における下水道整備の推進と合併処理浄化槽設置の促進を図り，汚水処理人口普及率を高めて環境保全に努めていただきたい。</p>
7	道路の安全対策について	<p>市民の豊かな暮らしを支える生活環境の向上を図るため，特に，生活道路の交通安全施設（信号・歩道など）未整備区間の早期整備をお願いしたい。道路管理者が県である場合は，県に対して，歩道等の未整備区間について調査し通学路の安全対策を講じるよう要望願いたい。</p>
8	農業の振興について (生産基盤の整備)	<p>少子・高齢化の進行や人口減少社会が進む中，農業離れ，農業後継者不足という深刻な問題に直面し，荒廃農地が増加している。地域の資源を有効活用し，安定的な農業経営が確立できるように，農地確保のためにも各種の支援策（例えば，草刈，耕運等の管理助成金等）を講じていただきたい。</p>